(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2009-43143
(P2009-43143A)
(43)公開日　平成21年2月26日(2009.2.26)

(51)Int.Cl.		F I			テーマコード（参考）
G07F 7/12	(2006.01)	G07F	7/08	B	2C088
A63F 7/02	(2006.01)	A63F	7/02	352F	3E044
G06Q 50/00	(2006.01)	G06F	17/60	146Z	5B058
G07F 5/22	(2006.01)	G07F	5/22	M	
G06K 17/00	(2006.01)	A63F	7/02	329	

審査請求 未請求　請求項の数 8　ＯＬ　（全 9 頁）　最終頁に続く

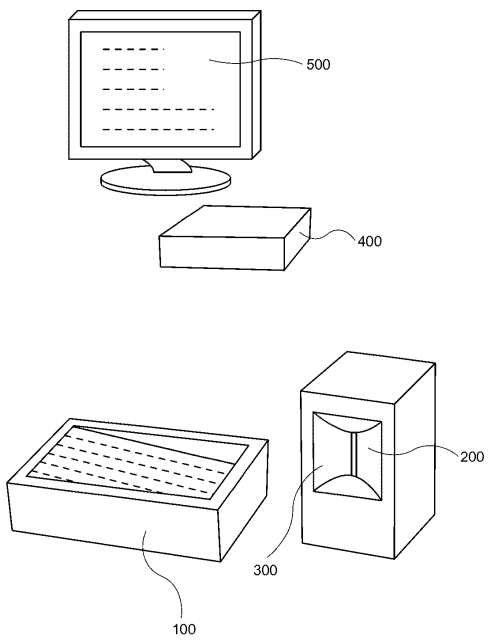
(21)出願番号　特願2007-209368 (P2007-209368)
(22)出願日　平成19年8月10日 (2007.8.10)

(71)出願人　305061346
大津　修平
東京都中央区八重洲１丁目４番２１号
(74)代理人　100109726
弁理士　園田　吉隆
(74)代理人　100101199
弁理士　小林　義教
(72)発明者　大津　修平
東京都中央区八重洲１－４－２１　共同ビル７Ｆ　アド・トラスト株式会社内

Ｆターム(参考)　2C088 BB21 BB23 BB29 BB31 BB32 BC80 EB68
3E044 AA01 AA04 BA04 BA06 CA06 DA05 DC05 DD01 EA07 EB01
5B058 CA15 CA17 KA38

(54)【発明の名称】年齢確認システム、景品交換システムおよびカード利用システム

(57)【要約】　（修正有）
【課題】年齢確認に基づき年齢に応じたサービスの提供をスムーズかつ確実に行う。
【解決手段】利用者のカードに記憶された利用者の生年月日と身体情報を読み出すカード読取装置２００と、利用者の身体情報を測定する測定装置３００と、カード読取装置２００が読み出した身体情報と前記測定装置３００が測定した身体情報とに基づいて利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断する情報処理装置４００とを備え、カードの所持者と正規の登録者が同一であった場合にのみ、カード所持者の生年月日からカード所持者の年齢を算出し、年齢に応じた処理を可能にする年齢確認システム。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
利用者のカードに記憶された利用者の生年月日と身体情報を読み出すカード読取装置と、
利用者の身体情報を測定する測定装置と、
前記カード読取装置が読み出した身体情報と前記測定装置が測定した身体情報とに基づいて利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断する情報処理装置とを備え、
前記カードの所持者と正規の登録者が同一であった場合にのみ、カード所持者の生年月日からカード所持者の年齢を算出し、年齢に応じた処理を可能にする年齢確認システム。
【請求項２】
利用者のカードに記憶された利用者の生年月日と身体情報を読み出すカード読取装置と、
前記カード読取装置が読み出した身体情報を画面に表示して、管理者に、利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断させる表示装置とを備え、
前記管理者が、カードの所持者と正規の登録者が同一人物であると判断した場合にのみ、カードから読み出した生年月日計算した年齢をカード所持者の年齢を算出し、年齢に応じた処理を可能にする年齢確認システム。
【請求項３】
前記身体情報は、登録者の顔写真である請求項１又は２に記載の年齢確認システム。
【請求項４】
上記顔写真は、ホログラムによって肉眼では判別不能な形で記載されている請求項３に記載の年齢確認システム。
【請求項５】
前記カードは、さらにプリペイドカード機能とサービスポイント蓄積機能を有する請求項１ないし４のいずれかに記載の年齢確認システム。
【請求項６】
前記請求項１ないし５のいずれかに記載の年齢確認システムを包含し、
前記利用者のカードには、前回の使用時から持ち越された遊技媒体数が記録されており、新規に獲得した遊技媒体があれば該遊技媒体数を追加し、景品交換に際して、カード所持者の年齢が２０歳未満の場合には酒類およびタバコの景品交換を認めない景品交換システム。
【請求項７】
前記請求項１ないし５のいずれかに記載の年齢確認システムを包含し、
前記利用者のカードには、前回の使用時から持ち越された遊技媒体数が記録されており、
前記カードの所持者が正規の登録者であることを条件に、カードに記録された持ち越し遊技媒体数および現金のいずれかまたは両方と引き換えに遊戯媒体の貸与を行い、カード所持者による遊技を許可するカード利用システム。
【請求項８】
前記請求項１ないし５のいずれかに記載の年齢確認システムを包含し、
前記カード所持者が正規の登録者であった場合に、カード所持者の年齢に基づいて、所定の場所への入場制限、所定の場所への所定の時間における入場制限、所定のサービスの提供、所定の割引金額の適用のうちの少なくとも１つを実施する、カード利用システム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、カードに記載された事項に基づいて年齢確認を行うことのできる年齢確認システムに関して、特に、本人以外に人物が偽って他人のカードを利用することが非常に困難な年齢確認システム、このような年齢確認システムを前提とした景品交換システムおよびカード利用システムに関するものである。

【背景技術】
【０００２】
酒類やタバコの販売、景品交換については、２０歳未満のものに酒類の販売等を行うことは違法であるため、人物の年齢確認が必要になる。例えば、パチンコ、スロット、ルーレット、スロットルマシン等を備えた遊技場においては、酒類やタバコを販売することや、パチンコ球、コイン等である遊技媒体との交換という形で結果的に酒類・タバコの販売が行われることが有る。遊技媒体と景品の交換に関して、以下に記載するような特許出願が公開されている。
【０００３】
景品交換に関連して、特開２００４－１６６４０号公報（特許文献１)は、遊技媒体を金額に換算して蓄積可能にし、その蓄積金を商店での商品購入等、その交換を可能にし、遊技媒体の交換価値の拡大化を図った遊技媒体交換システムを開示している。その方法は、パチンコ店に第１のサーバ、商店に第２のサーバ、管理センタに第３のサーバとデータベースを備え、遊技者の会員カードに対応する口座を開設し、遊技店で獲得した遊技媒体数のデータを所定の交換レートで金額データに変換して口座に記録し、遊技者が商店で商品購入の際、その代金を口座に記録された金額データで決済可能としたものである。
特許文献１に開示された方法は、競技媒体を換算して得られた金額で何を購入するかについては、購入者が未成年であるか否か等は考慮されていない。したがって、例えば未成年者が、遊技媒体を介してタバコやアルコール飲料を購入することも可能であるという問題が有る。
【０００４】
また、特開２００７－５４５７５号公報（特許文献２)は、遊技媒体計数装置管理者の指紋登録と関連して起動する遊技媒体計数装置を開示する。具体的には、記憶認証装置と、計数機構と、表示機構とを有する遊技媒体計数装置であって、遊技媒体計数装置管理者の生体情報の登録と該生体情報を記憶するとともに生体情報との照合を行なう生体情報登録機構と、管理者の生体情報登録・認証または認証と認証毎に前記遊技媒体計数装置を稼動状態にセット・リセットするとともに該稼動状態の経過を記憶する稼動状態記憶装置を備えたシステムである。
同システムは、指紋が登録された管理者が遊技媒体計数装置を起動することによって、利用客が独自に遊技媒体の計数を行うことができるようにしたものであるが、競技者が未成年者であるか否かの確認、あるいは年齢確認については一切配慮されていない。
【０００５】
特開２００１－２７６３９５号公報（特許文献３)は、小規模の遊技店においても、遊技者の趣向に合わせた多種の景品との交換が可能な景品交換システムを開示したものである。具体的には、遊技で得た遊技媒体を数えて、口座に貯える遊技媒体数の増加データを生成する計数機と、前記口座に貯えられた遊技媒体と景品との交換を指示する景品交換用端末と、前記計数機及び前記景品交換用端末に接続されたコンピュータとで構成される景品交換システムにおいて、前記口座は、遊技店毎に遊技媒体を貯えるように複数の個別口座に分割して構成され、前記個別口座には遊技媒体の貯蓄数が記録され、前記景品交換用端末への前記口座の情報及び景品の入力により、前記景品との交換に充当する前記個別口座に対応する遊技店の情報に基づいて、少なくとも遊技者及び景品の情報を含む景品交換情報を生成するものである。
つまり、複数の遊技店で残った遊技媒体の数を計数・集計して、これを希望により一括して景品と交換可能にすることによって景品交換の自由度を高めた発明である。ここでも、遊技場利用者の年齢確認については全く考慮されていない。
【０００６】
特開平１０－７６０６０号公報（特許文献４)は、遊技媒体との交換で、つまり景品としてタバコを販売するタバコ自動販売機を開示したもので、未成年者に対してタバコを販売しないよう配慮したものである。具体的には、特許文献４に開示されたタバコ自動販売機は、操作部のカード挿入部に会員カードが挿入された場合、会員カードからＩＤコード

を読み取り、読み取ったＩＤコードにより識別される会員の生年月日をホールコンピュータシステムから取込む。取り込んだ生年月日に基づいて、該会員が二十歳以上か否かを判断し、二十歳以上の場合にのみ、タバコの選択ボタンを作動可能にしてタバコの提供を可能にするものである。

この発明の場合、会員カードと会員カードに記録されたＩＤコードによって参照されるコンピュータシステム内の生年月日情報を手がかりに利用者が未成年者であるか否かを判別するので、未成年者が成年者のカードを借りて利用した場合に、未成年者に対してもタバコが供給される可能性を排除することができない。また、同発明は、会員カードとタバコ自動販売機との関係のみについて考慮したものであるが、残り球数を計数してその場で種々の景品と交換する状況を考えると、交換可能な景品の全てに対して一括して年齢認証との関連性を設けておくほうが遥かに便利である。

【０００７】

特開平１０－７６０６１号公報（特許文献５)は、特許文献４と同様に、景品としてタバコを販売する場合に、未成年者に対してはタバコ販売機のボタンをロックしてしまうものである。具体的には、カードリーダは、挿入排出口に会員カードが挿入された場合、会員カードからＩＤコートを読み取り、読み取ったＩＤコードにより識別される会員の生年月日をホールコンピュータシステムから取込む。取り込んだ生年月日を含む会員データをレジスタに出力する。レジスタは、会員データから生年月日を抽出し、会員が二十歳以上か否かを判断し、二十歳未満の場合に、タバコの選択キーをロックして、タバコの交換を不可能とする。

この発明の場合も、未成年者が成年者のカードを借りて利用した場合に、未成年者に対してもタバコが供給される可能性を排除することができず、また、会員カードとタバコ自動販売機との関係のみについて考慮したものなので、残り球数を計数してその場で種々の景品と交換する状況を考えると、交換可能な景品の全てに対して一括して年齢認証との関連性を設けておくほうが遥かに便利である点は特許文献４に開示された発明と同様である。

【特許文献１】特開２００４－１６６４０号公報
【特許文献２】特開２００７－５４５７５号公報
【特許文献３】特開２００１－２７６３９５号公報
【特許文献４】特開平１０－７６０６０号公報
【特許文献５】特開平１０－７６０６１号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００８】

従来技術の状況と従来技術が有する上述のような課題に鑑みて、本発明は、年齢確認システムであって、利用者のカードに記載された生年月日に基づいて年齢を算出するだけでなく、他人のカードの利用を排除し、信頼性の高い年齢確認を行うことのできるシステムを提供するものである。本発明はさらに、このような年齢確認システムを前提として、年齢に応じた景品のみを交換可能とする景品交換システム、年齢に応じたサービスのみを提供するカード利用システムを提供して、年齢確認の信頼性と同時にカード利用の利便性を向上することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００９】

上記の課題を解決することを目的として、本発明は、

利用者のカードに記憶された利用者の生年月日と身体情報を読み出すカード読取装置と、

利用者の身体情報を測定する測定装置と、

前記カード読取装置が読み出した身体情報と前記測定装置が測定した身体情報とに基づいて利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断する情報処理装置とを備え、

前記カードの所持者と正規の登録者が同一であった場合にのみ、カード所持者の生年月

日からカード所持者の年齢を算出し、年齢に応じた処理を可能にする年齢確認システムを提案する。

【００１０】

ここで身体情報とは、個人の同一性を判断するために必要十分な身体的な情報であればよいが、例えば、人相、虹彩パターンのように利用者の特別な動作や協力が無くても外見上容易に把握できる情報であることが好ましい。ただし、指紋、声紋、静脈形状のように、把握するために利用者に一定の協力が必要なものであってもよい。

【００１１】

カードおよびカード読取装置は、接触した端子を通じてデータ授受を行うものであってもよいが、非接触型のカードおよびカード読取装置であるのが、利便性の点から好ましい。

利用者の身体情報を測定する測定装置は、測定すべき身体情報に基づいて決まり、例えば、デジタルビデオカメラにようなものであるが、音声を取得するマイクとレコーダのようなものであってもよい。

【００１２】

カード読取装置が読み出した身体情報と前記測定装置が測定した身体情報とに基づいて利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断する情報処理装置は、一般にコンピュータおよびコンピュータに搭載されたプログラムであり、カードに記録された登録者の顔写真と判断に際して撮影したカード所持者の顔写真を比較して人物の同一性を判断するような装置である。同一性の判断基準には多くのものが考えられるが、ここで行う判断は、非同一を同一と判断する可能性が小さいものであることが望ましく、そのためには同一を非同一と判断する可能性が合理的な範囲で高いものも許容される。装置による非同一との判断に疑問がある場合には、係員が目視によってあるいは運転免許証を確認することによって、より正確な判断を行うことができるからである。

【００１３】

カードの所持者と当該カードについての正規の登録者が同一でないと判断された場合、システム管理者に警告を発して、人手による同一性確認（運転免許証や保険証など）を促してもよいし、以後のサービスを拒否してもよい。その際、カードの所持者と正規の登録者が同一でないことをカードの所持者に通知してもよいし、システム管理者にのみ通知してもよい。

【００１４】

上記の本発明に基づけば、カードに基づいて確実な年齢認証を行い、他人のカードを利用するなどの不正が行われたときには容易に発見することができる。したがって、年齢に基づいて、提供されるサービスや製品が異なる場合には、誤って未成年に酒類を販売するなどの事故を防止することができる。

【００１５】

本発明はさらに、利用者のカードに記憶された利用者の生年月日と身体情報を読み出すカード読取装置と、

前記カード読取装置が読み出した身体情報を画面に表示して、管理者に、利用者が正規の登録者と同一人物であるか否かを判断させる表示装置とを備え、

前記管理者が、カードの所持者と正規の登録者が同一人物であると判断した場合にのみ、カードから読み出した生年月日計算した年齢をカード所持者の年齢を算出し、年齢に応じた処理を可能にする年齢確認システムを提供する。

【００１６】

管理者は、例えば、利用者のカードから読み出された正規の登録者の顔写真とカード所持者を見比べて、同一人物であるか否かを判断することができる。同一性に疑問が有る場合には、さらに証明資料の提示を促すなどを行ったり、証明資料によっても同一人物とは認識できない場合などは、施設の利用を断るなどの対処を行うことができる。

装置が算出した年齢は、管理者に見えるように表示するのが好ましい。

【００１７】

例えば顔写真のような身体情報は、ＩＣチップのような電子的な媒体でカード内に保存されていてもよいし、ホログラムなどのように、カードの表面に存在するが、読み取りには特殊な装置を必要とし、肉眼では判別不能な形で記載されているものであってもよい。また、電子媒体とホログラムの両方を利用したものであってもよい。ホログラムによる場合には、一般に複製や偽者の製造が困難であるため、情報の信頼度を高くすることができる。

【００１８】

利便性を考えると、前記カードは、さらにプリペイドカード機能とサービスポイント蓄積機能を有するのが好ましい。

【００１９】

本発明はさらに、前記の年齢確認システムを包含し、つまり、これらを前提として、

前記利用者のカードには、前回の使用時から持ち越された遊技媒体数が記録されており、新規に獲得した遊技媒体があれば該遊技媒体数を追加し、景品交換に際して、カード所持者の年齢が２０歳未満の場合には酒類およびタバコの景品交換を認めない景品交換システムを提案する。

【００２０】

遊技媒体とは、例えば、パチンコ店におけるパチンコ球、ルーレット場におけるチップなど遊技に際して実際に使用する物理的な存在である。例えば、ある日、パチンコを行って、終了時にパチンコ球があまったような場合、これを次回の遊技のために持ち越し遊技媒体数としてカードに記録しておくことができるのが望ましい。上記の発明によれば、さらに後日パチンコを行ったまた余り球が出たような場合には、余り球の数を、持ち越し遊技媒体数と合計して、新たな遊技媒体数として記録することができる。持ち越し遊技媒体数を景品に交換した場合には、景品相当数だけ持ち越し遊技媒体数を減算する。現金、クレジットカード等で新規に遊技媒体を購入した場合（あるいは貸与された場合）、持ち越し遊技媒体数を増加させることもできる。

いずれの場合であっても、本発明のシステムによれば、カード所持者の年齢を確実に把握しているので、所持者が２０歳未満の場合には酒類およびタバコの景品交換を認めない等の処理を確実に実施することができる。

【００２１】

本発明はまた、前記年齢確認システムを包含し、

前記利用者のカードには、前回の使用時から持ち越された遊技媒体数が記録されており、

前記カードの所持者が正規の登録者であることを条件に、カードに記録された持ち越し遊技媒体数および現金のいずれかまたは両方と引き換えに遊戯媒体の貸与を行い、カード所持者による遊技を許可するカード利用システムを提供する。

【００２２】

本システムによれば、カードが不正に使用されていないか否かを確実に判断することができるので、カードが正当に使用されている場合のみ上述のようなカードの利用を許可することにしても、サービスの享受が不当に拒否されるというような問題が発生することが少ない。

【００２３】

本発明はまた、前記年齢確認システムを包含し、

前記カード所持者が正規の登録者であった場合に、カード所持者の年齢に基づいて、所定の場所への入場制限、所定の場所への所定の時間における入場制限、所定のサービスの提供、所定の割引金額の適用のうちの少なくとも１つを実施する、カード利用システムを提供する。

【００２４】

サービスの提供施設によっては、立ち入り自体に年齢請願がある場合、時間によっては年齢制限がゆるいが、遅い時間になると年齢制限が厳しくなるような場所などがある。このような施設では、施設への立ち入りは、単に年齢だけでなく、年齢と時間に基づいて判

断される。上記発明は、このような複雑な制限が課せられた施設においても、確実な年齢確認に基づいて適切な利用制御を行うことができる。

例えば、一定の時間以降は、所定の年齢以下の利用が制限されているような施設では、一定の時間まではサービスを提供するが、その時間以降は、所定の年齢以下の利用者に対してはサービスが提供されなくなるというような制限を課すことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００２５】

以下に、本発明のパチンコ店における実施例を参照しながら本発明を説明するが、本発明が実施例に限定されるもので無いことはいうまでもない。

図１は、本発明に基づくパチンコ店のパチンコ球計数機の概念を示す図である。計数機は、利用者のパチンコ球を受けてその数を数える計数手段１００と、カードに記憶されている持ち越し媒体数と媒体所持者の身体情報を読み取るカード読取装置２００と、所持者の身体情報を読み取る測定装置３００と、情報処理装置４００と、表示装置５００を有する。

所持者がデータをカード読取装置に読み取らせるためにカードを挿入した際に、測定装置が同時に所持者の特徴つまり顔写真（人相）等を読み取るようにしておけば、利用者は確認のために手間を取られる印象なく確実な本人確認を行うことができる。

【００２６】

情報処理装置４００は、カード読取装置２００がカードから読み出した媒体所持者の身体情報（例えば顔写真）と測定装置３００が読み取った所持者の人相特徴とを比較し、両者が同一人のものか否かを判別する。判別の結果、別人であると判断された場合、所持者の特徴を再度読み取るために、もう一度撮影を行い、何度か読み取りを試みた結果、同一人という判定が得られない場合は、遊技場側にその旨を通知し、同時に利用者に対して、カードに登録された身体情報と所持者のものが不一致である旨を表示する。第１回目あるいは何度目かの判別が不一致であった場合に、カードに記憶された身体情報と、読み取り手段が読み取った所持者の特徴と、新たに撮影した所持者の顔写真をコンピュータに取り込んでおけば、景品交換が悪意で試みられた場合や、本来問題が無いのに度々不一致と判別される場合などについて後の対処を容易にすることができる。

【００２７】

カード読取装置２００が読み出した媒体所持者の身体情報（例えば顔写真）と測定装置３００が読み取った所持者の顔写真とが不一致の場合、情報処理装置４００は、表示装置５００にその旨を表示してもよい。両者が一致した場合、情報処理装置４００は、次に、利用者が所定の年齢、さらには所定の年齢基準を満たすか否か（例えば２０歳になっているか否か)を計算する。また、情報処理装置４００は、計数手段１００が計数した玉の数とカードに記憶されていた貯積球の数を合計して、景品交換に用いることのできる球の総数を計算する。次に、年齢基準を満たしているか否か、および、交換可能な球の総数と、それぞれの景品の交換に必要な球数とを比較して、あわせて、年齢基準を満たすか否かによる選別を行い、交換可能な景品を表示装置５００に表示する。その時、今回新たに交換可能になった球数、従来から貯積されていた球数、合計の球数、各景品の交換に必要な球数を表示してもよい。

ここで、利用者が未成年であれば、タバコやアルコール飲料は交換可能な景品として表示されないことは当然である。

【００２８】

表示装置５００はタッチパネルになっており、利用者が表示された景品に触ることによって当該景品が選択されたものとみなして、パチンコ店側にこれを利用者に渡すように指示する。あるいは、かさばらない景品であれば、自動的に利用者に提供するいわゆる自動販売機の形式のものであってもよい。

【００２９】

上述のような、本発明にかかる景品交換システムによれば、利用者がそれと気付かないうちに媒体所持者の身体情報と利用者の特徴を比較して本人確認を行うことができるので

、利用がスムーズであり、同時に確実な本人確認を行うことができる。また、確実な本人確認に基づいて、交換可能な景品を選別し、交換可能な景品のみを表示するので、利用者の側にも、遊技場の側にもストレスなく交換を進めることができる。

【００３０】

上記は景品交換の例についてカードによる年齢確認を説明したが、カードの持ち越し媒体数に基づいて、新たにパチンコ球を貸与すること、場合によっては、持ち越し球数を現金として払い戻すことなどを行ってもよい。また、持ち越し媒体数がゼロでなければ、直接持ち越し媒体数を、現実の媒体に交換して遊技をすることができるようなしてもよいことは当然である。その際、遊技装置に備え付けのカードリーダにカードを読ませることによって、媒体への交換を実行できれば利便性は一層高くなる。

【００３１】

上記は本発明の一例であって、当業者であれば特許請求の範囲と実施例の記載に基づいて多くの変形例を実施できることは自明である。

【図面の簡単な説明】

【００３２】

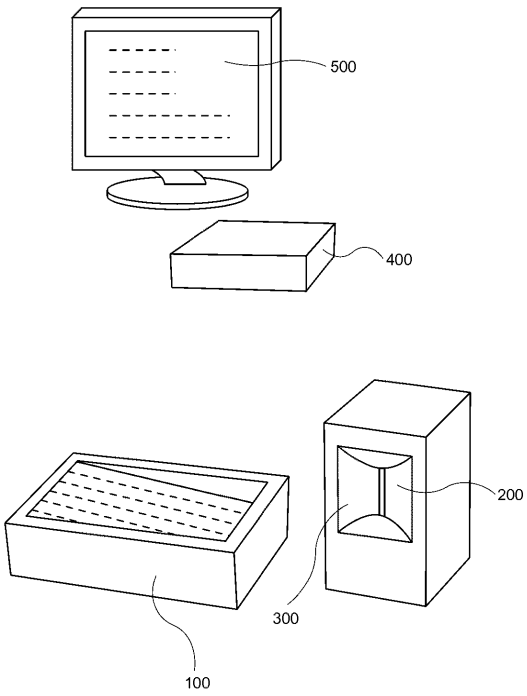
【図１】本発明の実施態様を示した概念図

【符号の説明】

【００３３】

１００　計数手段
２００　カード読取装置
３００　測定装置
４００　情報処理装置
５００　表示装置

【図１】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.	FI		テーマコード（参考）
	Ａ６３Ｆ 7/02	３５０Ｚ	
	Ｇ０６Ｋ 17/00	Ｆ	
	Ｇ０６Ｋ 17/00	Ｖ	